

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00517 )

事務事業名称	社会教育委員	款	07	項	04	目	01	事業	001	整理番号	504
現担当課名	生涯学習推進課	係名	管理係			連絡先電話番号	1665		昨年度整理番号	502	
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度										
令和 4年度担当課名	生涯学習推進課					事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	社会教育関係施設及び社会教育関係団体・指導者等区民	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第15～18条 ( 2 ) 杉並区社会教育委員の設置に関する条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	社会教育関係団体への補助金交付に対する意見を述べたり、諮問に応じた答申や、調査・研究をもとに提言などを教育委員会に対して行うことにより、社会教育活動の向上、活性化を図る。	活動指標	会議開催回数
事業内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者等合計9名以内で構成し ( 任期2年 )、社会教育の振興のための調査・研究などの活動を行い、必要に応じ教育委員会に対して答申や提言などを行う。	指標名 ( 1 )	延べ会議出席委員数
		指標説明	
		成果指標	NPO法人認証団体数
		指標名 ( 1 )	「社会教育の推進」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」の分野に関わるNPO法人認証団体数【社会】
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	5	6	5	6	5	6	83.3	78.4	
活動指標 ( 2 )	2 人	43	54	44	54	42	54	77.8		
成果指標 ( 1 )	3 団体	323	350	317	350	312	350	89.1		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	828	1,046	780	972	762	1,048	特記事項		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	6 千円	10,204	9,519	9,471	9,474	4,991	会議開催数の実績により、委員報酬及び会議録作成委託費が執行残となりました。		
	上記以外の職員	7 千円	2,540	2,902	3,308	3,310	3,310			
総事業費 ( 5+6+7 )	8 千円	13,572	13,467	13,559	13,751	13,546	9,349			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0			
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0			
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0			
	特定財源計 ( 9+10+11 )	12 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 8-12 )	13 千円	13,572	13,467	13,559	13,751	13,546	9,349			

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 504

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	社会教育委員報酬の支出 (延べ人数)	42	人	516
	社会教育委員の会議録作成委託	8	時間	207
	資料等の郵送、消耗品の購入			39
	その他 ( )			
取組成果	<p>令和4年度の社会教育委員の会議は、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、オンラインを併用しながら開催しました。</p> <p>会議では、実行計画及び教育ビジョン推進計画に掲げられている「社会教育士の育成・活用」について主に議論を交わしました。また、「横浜市社会教育コーナー」を視察し「よこはま社会教育士ネットワーク」について調査しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>社会教育委員の会議は、平成2年度の制度発足以来、17期目を迎えました。これまで区民の生涯学習・社会教育を推進するため、環境の整備や社会教育関係団体などの活動支援などについて、区の社会教育行政に答申や提言を出したり、「杉並区教育ビジョン2012・同推進計画」等を踏まえ、新たな「杉並区教育ビジョン2022・同推進計画」の実現に社会教育分野から意見を述べるなど、生涯学習社会の実現に役割を果たしてきました。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>しかし、成果指標であるNPO法人の認証団体数が、ここ数年コロナ禍の影響もあって漸減していることを踏まえると、より一層、各団体の抱える課題や学び合いの支援に取り組んでいくことが大切です。引き続き、区民の学びを広げるため、活発な議論を交わし検討を重ねていきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>第17期杉並区社会教育委員の会議では、令和2年度に国が創設した資格制度である「社会教育士」を中心に議論を重ね、令和5年6月、任期2年のまとめとして「一人ひとりが自分らしく生きられる杉並を目指して - 学び合いを支える社会教育士の意義と役割」を作成しました。</p> <p>また、任期満了に伴う委嘱替えにより、令和5年6月、第18期杉並区社会教育委員の会議が発足し、新たなテーマを設定して議論を進めます。</p> <p>令和5年度は現在のところ予算内で執行できる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>引き続き、第18期杉並区社会教育委員の会議においても、社会教育の振興を図るために必要な意見を求めていきます。コロナ禍で停滞していた社会教育活動が再び活発化し、さらに学び合いや教え合いの機会が充実するよう、必要に応じて視察や調査を行い、個人や団体の学び支援の検討につなげます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>附属機関の会議開催に係る必要経費として現状を維持します。会議開催にあたっては、基本構想や教育ビジョン2022の実現に向け、区民一人ひとりの生涯にわたる学び支援につながるよう、テーマや運営方法を議長と協議し、有意義な議論となるよう努めていきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00519 )

事務事業名称	社会教育の振興				款	07	項	04	目	01	事業	003	整理番号	505	
現担当課名	生涯学習推進課		係名	管理係		連絡先電話番号	1662		昨年度整理番号	503					
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成 8年度	実行計画事業	目標 07	施策 25	計画事業 01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）									
令和 4年度担当課名	生涯学習推進課								事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	社会教育活動を行う個人及び団体	根拠法令等	( 1 ) 杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱 ( 2 ) 杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育士を育成し、地域での学びを支援する。区民の生涯学習活動の活性化と、社会教育関係団体の活動を支援するとともに、区内の高等教育機関と行政や地域との連携協働を推進する。次世代を担う子どもが、名寄市での自然交流体験を通して、健やかに成長することができるように支援する。	活動指標	生涯学習活動指導者傷害保険加入指導者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	地域での学びを支援する社会教育士を育成する。教育委員会後援等名義使用承認により、社会教育関係団体の活動を支援する。区と区内高等教育機関 ( 明治大学・高千穂大学・女子美術大学・東京立正短期大学・東京女子大学 ) との包括協定に基づき、連携協働を推進する。生涯学習活動指導者傷害保険への加入促進により、団体指導者等の活動を支援する。小学生名寄自然体験交流事業として、小学5・6年生を北海道名寄市に派遣する。	指標説明	生涯学習活動指導者傷害保険加入指導者数
		指標説明	区内大学との連携協働推進協議会等開催回数
		成果指標	生涯学習活動の指導者傷害保険加入団体会員数
		指標説明	生涯学習活動の指導者を対象とした傷害保険に加入する団体の会員数【行政】
		指標説明	教育委員会後援等名義使用承認事業数
		指標説明	教育委員会後援等名義使用について承認した事業数【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	3,180	4,000	2,934	4,000	2,816	4,000	70.4	61.0
活動指標 ( 2 )	2 件	1	5	2	5	1	5	20.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	57,683	70,000	52,752	70,000	52,076	70,000	74.4	
成果指標 ( 2 )	4 件	64	150	90	150	100	150	66.7	
事業費	5 千円	3,924	7,075	3,563	7,665	4,674	9,658	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	14,455	14,946	15,013	15,513	16,635	20,795	・小学生名寄自然体験交流事業について、新型コロナウイルス感染症対応での実地踏査未実施や、航空機運賃の早割利用による経費削減により、予算が執行残になりました。 ・小学生名寄自然体験交流事業について、前年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため参加人数を縮小して実施しましたが、当初の参加人数に戻したことにより事業費が増となりました。
	上記以外の職員	7 千円	3,628	2,902	2,940	2,940	2,942	2,942	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	22,007	24,923	21,516	26,118	24,251	33,395		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	22,007	24,923	21,516	26,118	24,251	33,395	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 505

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	社会教育士の称号取得のための受講料の支出	4	人	132
	小学生名寄自然体験交流の実施	25	人	3,357
	生涯学習活動を行う指導者を対象とした傷害保険料の支出	2,816	人	587
	その他 ( 通知等の郵送、消耗品の購入ほか )			598
取組成果	<p>社会教育士の育成では、現職の社会教育主事3人のほか有資格者である職員1人が大学での講習を、その他の教育委員会事務局職員4人が文科省の講習を受講し、計8人が社会教育士の称号を取得しました。小学生名寄自然体験交流事業では、事業規模をコロナ禍以前に戻し、PCR検査を行った上で、25名の児童を名寄市に派遣しました。区内大学との連携協働では、保健予防課主催のゲートキーパー養成研修を大学と共催して実施したことにより、大学生の悩みや相談に対応する教職員等の参加を促し、若者の自殺対策に取り組みました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>社会教育士の称号取得は、教育委員会職員にとどまらず、他分野の区職員を対象に広げていくことが重要です。</p> <p>小学生名寄自然体験交流事業は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したとはいえ、感染状況を見極めながら、安全に実施するための方法等について引き続き検討することが求められています。</p> <p>後援等名義使用承認は、承認事業数はコロナ禍以前に戻っておらず、所属団体等が活動を一時休止したケースもあり、安全対策の情報提供など、再開への支援を行うことが必要です。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>指導者傷害保険は、加入団体の会員数や指導者数が高齢化により減少傾向にある中で、コロナ禍で活動を一時休止したケースもあり、指導者傷害保険の一層の周知等が求められています。</p> <p>区内大学との連携協働は、大学と庁内部署との連携協働事業の橋渡しのため、連携協働推進協議会を通じて更なる各大学の情報収集が重要となっています。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>社会教育士の育成については、文科省の講習への参加によって職員の称号取得を目指します。小学生名寄自然体験交流事業は、10月に結団式を行い、事前学習を経て12月26日から28日にかけて名寄市を訪問する予定です。その成果は2月に発表会を実施するほか、3月に報告書を発行します。後援名義使用承認は、コロナ禍以降承認事業数が減少していましたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ禍前に戻りつつあります。数年振りに申請する団体や新規団体からの申請が徐々に増加しています。</p> <p>社会教育士の受講料は、社会教育主事任用資格を持つ対象職員がいないため未執行になる見込みです。その他は現在のところ予算内で執行できる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>様々な分野における学びの支援を通して、人づくりや地域づくりに携わる役割を担う社会教育士の称号取得を他分野の職員にも広げていくために、社会教育士の周知や教育委員会事務局内での取得者を増やしていきます。</p> <p>小学生自然名寄交流事業や後援等名義使用承認は、引き続き参加者等に対して感染防止対応についての注意喚起を行いながら、事業内容に応じた規模や実施方法を判断し適切に対応していきます。</p> <p>区と区内大学との連携協働は、大学ごとに体制や学内状況が異なるため、主管課からの相談内容等に応じて、調整の仕方を工夫します。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>社会教育士の育成は、称号を持つ職員体制を維持するため、職員の配置状況を踏まえながら単位取得に係る必要経費を計上します。</p> <p>小学生自然名寄交流事業及び区内大学との連携協働は現状予算で、各校の取組や活動状況等を見ながら、適正な規模で事業を実施していきます。</p> <p>指導者傷害保険は現状予算で、周知方法を工夫していきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00522 )

事務事業名称	地域教育力の向上			款	07	項	04	目	01	事業	006	整理番号	508
現担当課名	学校支援課		係名	家庭・地域教育担当係			連絡先電話番号	1648		昨年度整理番号	506		
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成11年度	実行計画事業	目標	07	施策	25	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 4年度担当課名	学校支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会 保護者及び地域住民等	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	地域教育連絡協議会共催分担金支給要綱  杉並区地域教育推進協議会共催分担金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	青少年教育振興のため、家庭・地域・学校の連携の場を創出する。 家庭教育講座を通して、保護者等が自らの学びの場をつくり、子どもの成長について理解を深めたり、教育に関する課題を共有し、解決の糸口を探る場を創出する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会 開催事業回数 中学校区地域を主体とした活動量  家庭教育講座及び家庭教育フォーラムの開催回数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	中学校区を中心に組織された地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会において、懇談事業や子ども地域活動促進事業等を実施する。また、事務局となる青少年委員自身が必要とする知識の習得と情報の共有化を進めるための研修会等を実施する。子育てで感じる課題等について、大人が自ら学んで考える場として家庭教育講座を開催する。また、講座主催者や子育て支援者等の連携を図るために家庭教育フォーラムを開催する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会 開催事業への参加者 中学校区地域を主体とした活動への区民参加意欲の涵養【社会】 家庭教育講座及び家庭教育フォーラムの参加人数 保護者等を対象とした学習機会への区民参加意欲の涵養【社会】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	28	83	51	83	196	83	236.1	74.7
活動指標 ( 2 )	2 回	4	27	4	21	8	21	38.1	
成果指標 ( 1 )	3 人	4,145	19,500	8,539	19,500	12,321	19,500	63.2	
成果指標 ( 2 )	4 人	410	2,045	159	1,590	380	1,590	23.9	
事業費	5 千円	7,023	10,926	7,259	10,977	8,198	11,382	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	18,196	17,006	18,605	16,686	18,716	16,636	コロナ禍により、家庭教育講座の開催は引き続き慎重な状況が続いている一方、中学校区地域で区民が集い行う懇談会等は活発化しつつある。
	上記以外の職員	7 千円	3,628	3,628	3,675	3,675	3,678	3,678	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	28,847	31,560	29,539	31,338	30,592	31,696		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	28,847	31,560	29,539	31,338	30,592	31,696	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 508

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	青少年委員報酬の支出		42	人
	地域教育連絡協議会開催のための分担金の支出	18	校区	858
	地域教育推進協議会開催のための分担金の支出	4	地区	1,567
	家庭教育講座 (主催・共催) の開催	8	回	1,020
	その他 ( 運営事務費 ( 通信費、消耗品の購入ほか ) )			737

取組成果

青少年委員は、新たに10名を加え42名体制でスタートしました。各23中学校区地域に概ね2名の配置ができたため、各中学校区地域ごと委員同士相談しながら取組を推進していくことができました。

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	基本構想や教育ビジョン2022では、「区民の多様な交流・体験・学習活動やコミュニティ活動を一層推進する」ことが求められています。青少年委員等が事務局を担い各中学校区地域で取り組まれている地域教育連絡協議会やその取組を発展的に継承している地域教育推進協議会においても、身近な地域における新たな「つながりづくり」の機会として期待する声も大きいです。一方、コロナ禍を経て自らの団体の活動見直しを図っているPTA・町会など既存団体の中には、他の団体や新たな人たちとの「つながりづくり」を負担に感じている様子もみられます。
課題・分析 ( 2 / 2 )	今後、地域教育連絡協議会等の開催や家庭教育講座の企画運営団体の掘り起こしにあたっては、既存団体のみにとらわれることなく、新しい住民層や団体を掘り起こしていく工夫が必要と考えます。
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	地域教育推進協議会等の活動を支援するために、5月に分担金を支給するとともに、全体会や事務局会に職員が参加し、円滑な運営に向けた助言を行いました。これにより、各協議会では、それぞれ青少年委員の創意工夫によって各地域の特性に応じた事業活動を行っています。 教育委員会が主催する家庭教育講座については、10月と11月に各1回実施します。また、教育委員会共催の家庭教育講座については、既に1団体が実施し、分担金を支給しました。コロナ明けで件数は伸びているものの、本来多くの講座主催者同士が情報交換する場である家庭教育フォーラムについては、参加者数が少ないため、今年度も実施が困難な状況にあります。 予算については、フォーラム以外は、年度末までに概ね予定どおり執行できると予測しています。
事業の方向性・改善策	地域教育推進協議会等については、地域にある多様な団体や個人が単独で活動するだけでなく、他の団体等との連携・協力が必要な取組が多く、それらの関係をつなぐパイプ役としての青少年委員の役割が大きくなります。そのため、青少年委員の資質向上を図るとともに、地域全体で子どもの育成や教育に関わる課題を解決する仕組みを整えていきます。 家庭教育講座については、保護者の関心が高いテーマを設定し実施します。また、地域団体等が自ら企画・運営する講座については、講座の企画や運営にあたる主催団体に対して、引き続き必要な支援を行っていきます。家庭教育フォーラムについては、家庭教育講座の主催者や子育て支援者等が連携を図り、地域で取り組む活動に役立つような情報や意見を交換する相互学習の場としていきます。

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>地域教育連絡協議会等については、それぞれの協議会が各団体等と連携を図れるよう、引き続き運営の支援を行います。また、地域教育推進協議会については、地域の多様な主体が連携して、地域の実情に応じて、学校の教育活動を支援する学校支援本部と連携・強化を推進していけるよう取り組みます。さらに、協議会運営の要となる青少年委員に対しても企画力や実行力向上につながる実践的な研修を行っていきます。</p> <p>教育委員会が主催する家庭教育講座によって、家庭教育について誰もが気軽に学べる場を提供します。また、学んだことを共有し、学びを深めるための場を自ら作るよう団体に対して、共催分担金支給等の支援を行います。家庭教育フォーラムについては、子育てに関する教育関係団体にも呼び掛けを行い、実施します。こうした家庭教育講座や家庭教育フォーラムを実施することにより、子どもの健やかな育成に大きな役割を担う家庭教育支援の充実を図っていきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00697 )

事務事業名称	次世代型科学教育の推進				款	07	項	04	目	01	事業	014	整理番号	511
現担当課名	生涯学習推進課			係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	509		
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援							予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標	07	施策	25	計画事業	02						
令和 4年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区内在住・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	教育基本法第12条
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	広く子どもから大人まで科学に親しみ、科学に関する多様な体験や触れ合う機会を地域に出向いて提供する。交流自治体や区民、NPO、民間事業者等との協働により、相互のつながりやかかわり合いを促進する。ICTやデジタル技術などを活用した次世代型の科学教育を推進する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	科学講座等開催回数 委託事業における科学講座・科学展示等の開催日数 サイエンスフェスタの出席団体数
事業内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	移動式プラネタリウムの投影や、北海道名寄市との協働で天文台車による観望会を実施する。最新の科学にふれる展示会や、区内の科学教育関係団体・企業・学校等で構成する実行委員会による「サイエンスフェスタ」を開催する。科学に関する講座・講演会や、小中学生を対象にした夏休み科学講座「フューチャーサイエンスクラブ」を実施する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	科学講座等参加者数 委託事業のうち科学講座、科学展示等の参加者数【行政】 すぎなみサイエンスフェスタの参加者数 すぎなみサイエンスフェスタにおける会場及びオンライン参加者の合計数【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	7	15	13	25	25	52	100.0	54.6
活動指標 ( 2 )	2 団体	11	26	15	26	17	26	65.4	
成果指標 ( 1 )	3 人	624	1,200	1,021	1,800	2,268	1,800	126.0	
成果指標 ( 2 )	4 人	2,501	2,300	927	1,500	1,110	1,500	74.0	
事業費	5 千円	3,240	14,070	3,940	13,516	7,374	19,500	特記事項	
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	6 千円	16,156	12,755	12,515	12,515	14,557	12,473	・新型コロナウイルス感染症対策による事業開催数の減及び事業形態の変更に伴い、委託費、分担金等に残が生じたため、事業費が執行残となりました。一方で、前年度と比べると開催回数は戻っているため事業費は増となっています。 ・令和5年度より科学展示や科学講座等の実施を委託に変更するため、活動指標指標名 成果指標指標名 を変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	7,619	6,530	5,513	6,615	5,517	6,620	
総事業費 ( 5+6+7 )	8 千円	27,015	33,355	21,968	32,646	27,448	38,593		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 ( 9+10+11 )	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 ( 8-12 )	13 千円	27,015	33,355	21,968	32,646	27,448	38,593	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 511

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	新たな天文学習事業の実施		2,675	人
	科学博覧会の実施	3,586	人	1,400
	サイエンスコミュニケーション事業の実施	23	回	5,354
	その他 ( )			
取組成果	<p>新型コロナウイルス感染防止対策のため、一部の事業が中止や変更となりました。名寄市立天文台車による観望会は2回を1回にして、移動式プラネタリウム事業は平面型スクリーンに投影する天文講座を併用して実施しました。科学博覧会は国立科学博物館等の資料を用いた非接触型の展示を、サイエンスフェスタは予約制にして実施しました。サイエンスコミュニケーション事業はフューチャーサイエンスクラブなどの講座内容を見直ししながら23回実施したほか、科学冊子を2回発行するなど実施方法・手法等を工夫しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>科学教育事業については、身近な地域の施設で科学に触れることができることから、多くの区民の参加を得る機会になっています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部事業の変更を余儀なくされたことから、この対応として実施方法・手法等に工夫を重ねていますが、今後は、旧杉四小跡地に開設される「科学の拠点」とも連携して、区内の科学教育団体や民間事業者等の参画に結びつけることより、科学に関する多様な体験や触れ合う機会の充実を図る必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度に設立される「次世代型科学教育の新たな拠点イマジナス ( IMAGINUS )」の運営事業者に、年度当初から次世代型科学教育事業を委託しています。そのうち天文事業については、5日間で20回実施し、延べ604人の参加がありました。今年度の天文事業は計24日分の実施を予定しており、各日の実施回数は受け入れ先との打ち合わせの中で決定され、今後予定どおり実施される見込みです。また、サイエンスフェスタについては、令和6年3月の実施を予定しています。令和5年度は現在のところ予算内で執行できる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>次世代型科学事業については、令和5年度から科学の拠点運営事業者への委託化を実施し、現在、受託者とともに科学教育団体等と連携を図りながら進めています。令和5年10月の「次世代型科学教育の新たな拠点イマジナス ( IMAGINUS )」開設後は、事業の相乗効果を高めるためにより一層の連携を図り、区民の科学に対する多様な関心を引き出していきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>令和5年10月の「次世代型科学教育事業の新たな拠点イマジナス ( IMAGINUS )」の開設を踏まえ、次世代型科学教育事業については令和5年度からの委託規模を維持しつつ、令和6年度当初から、より効果的・効率的な事業執行や施設の有効活用等が図れるよう運営事業者との連携を進めます。</p>	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00840 )

事務事業名称	社会教育事業の運営			款	07	項	04	目	01	事業	015	整理番号	512
現担当課名	生涯学習推進課		係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	510		
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和26年度	実行計画事業	目標	07	施策	25	計画事業	02					
令和 4年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区内在住、在勤、在学の区民</li> <li>○各種社会教育団体</li> </ul>	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第3条、第5条及び第13条 ( 2 ) 杉並区立社会教育センター条例 ほか
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区民や関係団体に対して、主催事業や共催事業等として生涯学習や文化・芸術活動への参加機会を提供し、「個人の主体的な学び」や関係団体の活動の活性化等を支援する。</li> </ul>	活動指標	成人学習支援事業における実施講座数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	各種の社会教育学級、講座、展示会その他の社会教育事業を実施する。 ・成人学習 (すぎなみ大人塾、若者対象講座等) ・社会教育団体協働事業 (杉並区文化団体連合会、杉並区総合文化祭、大学公開講座、ユネスコ活動事業) ・社会参加支援 (済美教室、にほんご教室)	指標名 ( 1 )	すぎなみ大人塾、若者対象講座等成人学習支援のために実施する講座数
		指標名 ( 2 )	社会教育団体協働事業における実施講座数
		指標説明	大学公開講座、ユネスコ活動
		成果指標	成人学習支援事業における延べ参加者数
		指標名 ( 1 )	すぎなみ大人塾、若者対象講座等成人学習支援事業への延べ参加者数【行政】
		指標名 ( 2 )	社会参加支援事業における延べ参加者数
		指標説明	社会参加支援事業における延べ参加者数【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 講座	0	5	5	4	4	4	100.0	64.2
活動指標 ( 2 )	2 講座	0	51	13	36	33	36	91.7	
成果指標 ( 1 )	3 人	0	490	383	400	514	400	128.5	
成果指標 ( 2 )	4 人	0	900	616	900	595	900	66.1	
事業費	5 千円	0	10,475	3,838	8,803	5,653	15,159	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	0	42,515	42,378	43,384	50,074	50,735	新型コロナウイルス感染症対策による事業開催数の減および事業形態の変更に伴う謝礼金、委託費等に残が生じたため、事業費の執行残となりました。一方で、前年度と比べると開催回数は戻っているため事業費は増となっています。
	上記以外の職員	7 千円	0	15,238	16,538	15,435	16,551	15,448	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	0	68,228	62,754	67,622	72,278	81,342		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	0	68,228	62,754	67,622	72,278	81,342	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 512

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	成人学習 (すぎなみ大人塾、若者対象講座等)	4	講座	3,048
	社会教育団体協働事業 (文化団体連合会補助金、区内5大学公開講座等)	33	事業	1,196
	社会参加支援 (済美教室3回、にほんご教室2期計56回)	3	事業	769
	その他 (社会教育事業運営のための需用費、役務費)			640
取組成果	<p>成人学習では、すぎなみ大人塾の総合コースと地域コースの実施により、受講生の自主的な活動につなげるとともに、30歳以下を対象に新たな講座を開催したことにより、多様な世代への働きかけを行うことができました。社会教育団体協働事業では、各団体の自主性を尊重しつつ活動支援や区との協働事業を実施することにより、区民の生涯学習や文化・芸術活動への参加促進を図りました。社会参加支援では、済美教室の参加者・ボランティアスタッフが安全に参加できるように開催方法を改善し、にほんご教室はオンライン形式での実施により参加機会の提供に努めました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>成人学習に関しては、区民の方々が主体的な学びをきっかけに地域参画していくために、職員等がどのような支援をしていくことが効果的なのか、引き続き検討していく必要があります。また、40代以下の集客に向け、SNSの活用を含めた事業周知方法の検討も必要です。</p> <p>社会教育団体協働事業については、活動の自粛によって制限されてきた各団体に対し、団体の自主性を重んじつつ、いかに区民ニーズを捉えた事業をできるように支援するかが課題です。</p> <p>社会参加支援 (済美教室・にほんご教室) については、コロナ禍で講じてきた「対面」以外の方法を併用しながら、従来の「対面」を基本とする事業としてどのように実施していくことが妥当か、更なる検討が必要です。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>成人学習では、すぎなみ大人塾3コース、及び30歳以下を対象とした「すぎなみU30ミーティング」を開講し、全てに定員を超える申込みがありました。また、文化団体等社会教育関係団体との共催事業やにほんご教室などの社会参加支援事業を、8月1日にリニューアルオープンしたセッション杉並を会場に再開したほか、済美教室を「対面」実施に切替えたことなど、受講者のニーズに応えることができたよう取り組みました。</p> <p>令和5年度は現在のところ予算内で執行できる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>今年度よりコース設定を刷新した成人学習については、事業運営上の工夫を加えながら進めていますが、講座申込者の世代別状況などから、プログラムの回数、時間帯についてさらに検討します。</p> <p>社会教育団体協働事業や社会参加支援等の事業については、団体の主体性を尊重しつつ、対話の機会や団体間の交流等をさらに深め、より新たな気づきを得たいという区民のニーズに応えていきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>社会教育センターの交流ラウンジの新設や、社会教育士の活用等を含めた社会教育事業の運営を具体化するため、従来の事業規模を維持しつつも各事業の内容や実施方法の見直しを行い、より積極的な事業運営を目指すとともに、増大する学習ニーズに対して的確に応えていきます。</p> <p>また、「杉並区教育ビジョン2022」の理念である「区民誰もが学びを通して自分らしく豊かに生きる」ことの実現に向け、セッション杉並だけでなく主体的な学びの場や機会を地域の中で適切に提供するなど、必要な支援を続けていきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00529 )

事務事業名称	社会教育センター維持管理			款	07	項	04	目	02	事業	001	整理番号	513
現担当課名	生涯学習推進課		係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	511		
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度												
令和 4年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	社会教育センター利用者	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第3、5条 ( 2 ) 杉並区立社会教育センター条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の学習の場として、安全で快適に活動できる施設として良好な環境を維持し利用者に提供する。	活動指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者に対し、社会教育の学習の場を提供するとともに、一般区民の利用施設として快適で安全な環境を図るため、修繕を含めた施設の適正な維持及び管理を行う。	成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1								33.9
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	68,127	37,012	25,920	13,639	4,617	115,251		<b>特記事項</b> ・社会教育センターのあるセシオン杉並の大規模改修工事の完了時期が、令和5年2月から5月に延長されました。その結果、令和5年3月に予定していた建物管理業務委託が無くなり、委託料や光熱水費等で執行残が発生しました。 ・令和4年度は年度を通して工事期間となっていたことから、維持管理に係る経費等が不要となり、前年度と比べて事業費が減っています。
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	7,529	8,635	8,997	3,337	3,327	3,327	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	75,656	45,647	34,917	16,976	7,944	118,578		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	75,656	45,647	34,917	16,976	7,944	118,578	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 513

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託	1	所	1,461
	光熱水費の支出	1	所	2,909
	施設維持経費の支出 ( 修繕費、消耗品の購入等 )	1	所	247
	その他 ( )			
取組成果	<p>社会教育センターのあるセシオン杉並の大規模改修工事は、令和5年2月工事完了・5月利用再開を予定していましたが、世界的な建築資材・電子部品不足等の影響を受け、令和5年5月工事完了・8月利用再開に変更されました。そのため、令和4年度は年度を通して工事期間となり、建物管理業務委託が無くなりました。</p> <p>旧永福図書館は、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場として使用したことから、必要な維持管理業務を実施しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>社会教育センターの維持管理については、指定管理者による指定管理料として、地域課へ予算を執行委任しました。</p> <p>旧永福図書館の維持管理については、令和5年度から済美教育センターへ移管されたため、維持管理業務はありません。</p> <p>令和5年度は現在のところ予算内で執行できる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>セシオン杉並は指定管理化を図りましたが、円滑な事業運営のため、一部の調整事務等については引き続き社会教育センターで行います。</p> <p>区が自ら施設の維持管理を行っていた時のノウハウや情報を踏まえて、区民へのサービス提供に支障を来さないよう、指定管理者と緊密な連携を図っていきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	今後とも、指定管理者と緊密な連携を図りつつ、利用者の利便性の維持向上に努めていきます。	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00530 )

事務事業名称	郷土博物館の維持管理			款	07	項	04	目	02	事業	002	整理番号	514
現担当課名	生涯学習推進課		係名	郷土博物館		連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	512			
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度												
令和 4年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	博物館利用者	根拠法令等	( 1 ) 博物館法 ( 2 ) 杉並区立郷土博物館条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	歴史・文化資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。	活動指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	本館、分館、松ノ木遺跡、館外収蔵庫2か所の維持管理を行う。	成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1								97.3
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	45,283	40,863	37,334	44,435	43,238	45,669		特記事項 令和3年度は、BCP発動に伴う郷土博物館臨時休館等による光熱水費及び建物管理費の残が多くありましたが、令和4年度は臨時休館がなく、さらに、光熱費の高騰や自動扉の修繕費として必要経費が多くなったため、事業費が10%以上増加しています。
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	8,928	8,503	8,510	8,343	8,401	8,318	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	54,211	49,366	45,844	52,778	51,639	53,987		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	54,211	49,366	45,844	52,778	51,639	53,987	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 514

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設の保守管理委託 (電気機械設備等保守点検、清掃等建物管理、植栽管理)		2	館
	光熱水費の支出	2	館	10,557
	施設の維持管理 (機器リース、消耗品管理等)	2	館	1,756
	施設の整備 (一般修繕)	2	館	2,302
	その他 ( )			
取組成果	<p>館の運営に不可欠な清掃業務、各種機械設備保守点検、燻蒸作業等を委託により実施しました。また、経年劣化による突発的な故障や動作不良を防ぐために、本館自動扉の開閉装置を交換しました。</p> <p>その他に、突如故障した本館常設展示室空調機や分館電話主装置の修繕も実施しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>館の運営に不可欠な清掃業務、各種機械設備保守点検、くん蒸作業等を委託により実施しています。また高木枯枝剪定を行ったほか、梅の木が枯れたため急きょ撤去を行いました。9月に館外収蔵庫の旧永福図書館から和田収蔵庫への移転を予定しているため、資料の整理・点検を行い、有効活用につなぐよう取り組みます。また、引き続き安定的な資料収集を見据えた収蔵スペースの確保を検討していきます。年度後半では長屋門の修繕と古民家の修理、空調機チラーユニット運転時異音対応、空調機PAC2つの室内機清掃等を予定しています。</p> <p>令和5年度は現在のところ予算内で執行できる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>館の維持運営に不可欠な各種整備・点検等委託を実施するほか、館外収蔵庫として旧若杉小収蔵庫・和田収蔵庫を活用し、恒常的かつ安定的に収蔵が可能な施設の確保を進めます。収蔵庫の移転を契機とした収蔵資料の棚卸しを行い、安定的な収集・保存が行えるよう場所の確保を行います。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>機器故障や施設の傷み等に対しては、老朽化に伴い点検時に修理の必要性を指摘されることが増えていきます。予防的な観点で対応を行い、安定的な施設の維持管理を行うことで、急きょで大規模な支出の抑制を図り、今後の施設の長寿命化計画に無理なくつなげていきます。</p> <p>また、増大する収蔵資料の棚卸しを適宜行いつつ、安定的な収集・保存が行えるように、引き続き場所の確保に努めます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00821 )

事務事業名称	旧杉並第四小学校維持管理			款 07 項 04 目 02 事業 004	整理番号	516	
現担当課名	生涯学習推進課	係名	管理係	連絡先電話番号	1665	昨年度整理番号	514
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援			予算事業区分	臨時事業		
事業開始	令和 2年度						
令和 4年度担当課名	生涯学習推進課			事業評価区分	その他簡易な評価		

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	旧杉並第四小学校グラウンド利用者	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立施設再編整備計画 ( 2 ) 旧杉並第四小学校の団体開放に関する要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	グラウンドは、高円寺学園の補完機能として、部活動や同校に登録する学校開放少年団体の活動場所とする。次世代型科学教育の新たな拠点等が開設するまでの建物の取り扱いについては、原則として行政の使用に限り暫定活用を図る。	活動指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	建物及びグラウンドの維持管理及び利用調整を行う。	成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1								89.2
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	28,917	32,433	26,266	30,566	27,276	21,176		特記事項 光熱水費の残及び建物管理に落差金が生じたため執行残となりました。
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,656	2,551	2,503	834	1,664	832	
	上記以外の職員	7 千円	1,923	1,088	735	735	736	736	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	34,496	36,072	29,504	32,135	29,676	22,744		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	34,496	36,072	29,504	32,135	29,676	22,744	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 516

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託	1	所	21,075
	光熱水費の支出	1	所	5,464
	施設維持管理経費の支出	1	所	737
	その他 ( )			
取組成果	改修工事の範囲外である建物北棟及びグラウンドを対象に、清掃業務や各種保守点検業務など適切に施設の維持管理を行うとともに、保守点検業務の結果を受けて防災設備等の修繕を行いました。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	改修工事の範囲外であるグラウンドを対象に、樹木の管理や除草などの清掃業務やグラウンドへの散水や整地など、適切な維持管理に努めています。 予算は、一部追加修繕の工事が発生しているものの、概ね予定どおり執行できると予測しています。
事業の方向性・改善策	グラウンドは、科学の拠点の開設後も、併設する高円寺北子供園の園庭として活用するほか、高円寺学園の補完機能として部活動や同校に登録する学校開放少年団体の活動場所に提供するため、教育委員会で管理を行います。引き続き、安心して利用できるよう、適切な維持管理に努めます。 なお、建物の維持管理は科学の拠点運営事業者が行います。

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	建物の維持管理は、科学の拠点運営事業者が担うことから、光熱水費や保守点検業務などの予算が縮小となります。	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00823 )

事務事業名称	次世代型科学教育の新たな拠点等の整備				款	07	項	04	目	03	事業	007	整理番号	519	
現担当課名	生涯学習推進課		係名	管理係		連絡先電話番号	1665		昨年度整理番号	517					
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援								予算事業区分	投資事業					
事業開始	令和 2年度	実行計画事業	目標	07	施策	25	計画事業	02							
令和 4年度担当課名	生涯学習推進課								事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	次世代型科学教育の新たな拠点等の利用者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区立施設再編整備計画
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	身近な事象から最先端に至るまで、幅広い科学の魅力に触れることができ、何度でも来館したいと思う参加型・体験型の科学のプログラムを企画し提供する「次世代型科学教育の新たな拠点」及び多目的に利用できる場 (集会機能) を旧杉並第四小学校の跡地に整備する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	改修工事の進捗状況 工事竣工時100%とした場合の出来高の割合
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	建物の修繕や集会機能の改修を担う区と、科学の拠点の改修を担う運営事業者が連携して整備を進める。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 %	0	0	0	50	51	100	102.0	45.9
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	5,715	244,248	226,318	6,120	2,810	453,877	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,401	1,701	3,337	3,337	3,327	4,991	・廃棄物収集及び処分費用について、廃棄量の減及び落差金が生じたため執行残となりました。 ・工事費及び工事監理費は、令和5年度まで限度額415,000千円の債務負担を設定しています。 ・前年度は工事請負費の前払金の支出がありましたが、令和4年度は支出する年度にあたらなため事業費が減となりました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	9,116	245,949	229,655	9,457	6,137	458,868		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	9,116	245,949	229,655	9,457	6,137	458,868		

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 519

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)	
	廃棄物処理委託		1	所	1,460
	機械警備撤去委託		1	所	655
	主事室仮移転に伴う事務室の整備等		1	所	695
	その他 ( )				
取組成果	<p>実施設計をもとに改修工事を進めました。区が建物の長寿命化改修や集会機能ゾーンの工事を行い、運営事業者が科学の拠点ゾーンの内装工事を行いました。それぞれの工事に滞りが生じないように、定例会の開催等を通じて綿密に調整を図りました。</p> <p>また、運営事業者と開設に向けたロードマップを確認し、区民への広報や施設の利用方法の具体化に向けて協議を開始しました。</p>				

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>改修工事については、着実な進捗管理に努め、区の工事及び運営事業者の工事も予定どおり進んでいます。引き続き、10月の開設に向けて連携して実施していきます。</p> <p>また、開設に向け運営事業者への支援を行うとともに、広報活動等についても連携して取り組みました。当該施設が杉並区由来の科学体験施設であることを勘案し、施設名称については運営事業者が「IMAGINUS(イマジナス)」と決定しました。これらの取組に民間事業者ならではのノウハウや創意工夫が生かされ、施設の魅力を高めることにつながっています。</p> <p>今後は、イマジナス ( IMAGINUS ) で行われる科学のプログラムや集会機能の利用方法の具体化、オープンイベント等についてもさらに協議を進めます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>改修工事については、区と運営事業者で調整を進め、予定どおり9月をもって完了します。このほか年度末までの間に、太陽光発電設備の設置工事や、設計段階では予知することが難しかった追加の修繕等を行います。</p> <p>また、イマジナス ( IMAGINUS ) における科学のプログラムや集会機能の利用方法等については、運営事業者と協議を進めた結果、内容が確定し、予約受付を開始しました。引き続き、10月の開設に向けて、集会機能の初度物品の調達やオープンイベントの開催準備などを進めます。</p> <p>一部追加修繕の工事が発生しているものの、予算は概ね予定どおり執行できると予測しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>イマジナス ( IMAGINUS ) 開設後は、多くの区民に利用されるよう、区の広報紙を活用した周知等の運営支援を行います。また、運営事業者と連携し、利用者数や利用者層の把握・分析等を行うとともに、安定的な運営の観点から、課題の確認やそれに伴う対応について協議を進めます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	科学の拠点等の改修工事は、令和5年度をもって完了します。	